

走る前に

ルール&マナー

はじめに

北神戸サーキットをご利用いただき誠に有難うございます。

ここは、元来ライセンス所持者しか走行できない JAF 公認カートコースです。レンタル専用コースではなく、レンタル専用の走行時間枠を設けての走行をしていただきます。ご利用される皆様には、**モータースポーツの危険性を十分にご理解いただき**、たとえお客様が娯楽的なご利用目的であったとしても、スポーツとしてのルールやマナー等当サーキットの利用規則を遵守していただきます。

- ❗ 万一、怪我(死亡含む)事故やその他車両に損害が発生してもコース管理者・スタッフ等はもちろん、その相手方も、その責めを負わないのがサーキットでのルールです。
- ❗ 利用規則を遵守していただけないお客様には、ご利用をお断りする場合があります。(ご利用代金をご返金いたしませんので予めご了承下さい。)

- ① 当サーキットのレンタルカートは、実際にレースに使用するフレーム(車体)にレース仕様のエンジンが搭載されています。**スピードがレンタルコース専用マシンに比べ速くなります。**
又、フレーム(車体)が軽量であるため、レンタル専用マシンと比べ非常にデリケートで接触等における損傷は大きくなります(壊れやすい) 速いけど壊れ易いとご理解ください。
- ② 走行時に、スピード・マシンの動き等を確認無理のないドライビングで楽しんでください。
当コース内で起きた事故により怪我(死亡含む)等が発生しても、JAF・当コース(コーススタッフ含む)や走行中接触した相手方、又接触された相手方に対して、損害賠償はもちろん何等の異議苦情等を申し立てることはできません。
- ③ モータースポーツは、いたるところに危険が潜んでいるスポーツです。
ピットロードの歩行は必要最小限度に お子様の独り歩き厳禁 バギーカー・歩行遊具の使用禁止
スポーツマンシップにのっとり走行すると同時に、**自己の安全確保と他者の安全確保が義務**づけられており、それを遵守することを承諾の上走行していただきます。
- ④ 次の方はご利用をお断りいたします。
飲酒されている方・妊婦・心臓や身体に疾患のある方・正常にドライビングできないと当方が判断した方
- ⑤ **走行時の服装**は、カート用レーシングスーツ・レーシング・グローブやシューズ・強度公認のフルフェイスのヘルメットを強く推奨いたします。
最低限度の服装は、(コーススタッフが認めたものに限りませす)
長そで・長ズボン・靴下・滑り止め機能のある手袋・スニーカーにフルフェイスのヘルメット
長そでのTシャツ・7分袖・裸足・ヒールの高い靴・滑りやすい革靴等は、お断りさせていただきます。
走行できる方は、アクセル・ブレーキペダルに確実に足が届く15歳以上の男女に限りませす。
実際に着座した状態で見極めます(コーススタッフが認めた方に限りませす)
- ⑥ 必ずヘルメットのあご紐は締める・バイザーは閉じる
- ⑦ いくら暑くても 胸元を開けたり・袖や裾をめくりあげたりしない
- ⑧ 他の車両と接触してはならない。前輪と後輪の車幅が違います 車幅には十分気をつけて下さい。

禁止事項

- ⑨ コース内で停止してはならない。逆走してはならない。蛇行運転をしてはならない
一時停車禁止・幅寄せ禁止・進路妨害禁止・追突接触禁止
コース内では、ヘルメット、グローブを脱がない。
- ⑩ ピットアウト(コースイン)・ピットインは右手を上げて合図する。
- ⑪ コース内でスピンした時は、先ず両手を上げ後続車に停止状態を知らせる、
↓
後方確認し安全であれば、最小限度でUターンする
エンジン停止の場合は、降車し安全な位置までカートを移動する
(女性や子供等非力な方初心者、カートから下りないで助けが来るまで両手を上げ後続車に停止状態を知らせる)
ダート内での停止は、安全な位置のコース上へカートを移動してから再スタートする
追突した時やダート内へコースアウトしてクラッシュパッドに当たった場合は、コースに戻っても、必ずピットインして車両の状況をコーススタッフと確認する
- ⑫ コース内で走行中に減速する場合は 減速前に右手を上げてから減速する。
- ⑬ コースは先入優先です 後続車は先行車の進路を妨げてはなりません。
また 先行車は後続車の進路を妨げてはなりません。
- ⑭ 無謀又は危険と見なされる場合又はふざけた行為をした場合、即刻走行中止とさせていただきます。その場合 走行料金はお返しいたしません。
- ⑮ コーナリングは、スローインファーストアウトが基本です。
- ⑯ ブレーキとアクセルを同時に踏まないでください。(ブレーキ又はクラッチの故障を発生させます)
- ⑰ 接触・コースアウト等でカートを破損・損傷した場合は、そのドライバーが修理代実費を負担しなければなりません。又、コース内の設備等の破損・損傷の場合も同様です。
- ⑱ ピットロード・コース内は禁煙・飲食禁止です、喫煙は所定の場所で可能です。
- ⑲ お弁当・お菓子持込食品の空き容器等の可燃ゴミは全てお持ち帰り下さい
ペットボトルと空缶は所定の位置へ分別して捨てて下さい。
- ⑳ 別紙フラッグ(旗) 意味を理解し、その行動がとれるようお願いします
レンタル走行の場合、主としてチェッカーフラッグですが、
走行台数が多い場合は黄旗・赤旗・青旗・も利用する場合があります。
- ㉑ その他コーススタッフの指示に従うこと

フラッグサインを覚える

旗の意味を理解してゴールライン(コントロールライン)前で出す「旗」の指示に従う

Signal Flags

※ 北神戸サーキットでは、信号機によるスタートです



●国旗——

スタートフラッグ
競技開始

- ①タイムトライアルの計測開始。
- ②レース開始。
スピードアップ。
スタートラインを越すまでは追い越し、はみ出しはしない。



●緑に黄色の山形

ミススタートである。再度スタートを行なう。
①フライングがあった場合。
②第一コーナーで多くの台数による事故等の混乱があった場合。
安全確保しながら自分のグリッドポジションにもどり、ローリングをしない。スタンディング(グリッド)スタートの場合はもう1度元のグリッドに戻る。



●赤旗——

レース中止。
①ミススタート後にローリング体制が整わず、一旦停止させる必要が生じた場合。
②大事故等でそのレースを中断する場合。
手を高く振りながらドライバーはただちにレースを中止し、スピードダウン。後続カートはコースの追突を招かぬよう、指示の追突に安全に停止するか、指示があった場合はスタートラインまで徐行して戻り、左右に分れてコース脇に停止。



●青旗——

少なくとも1周以上遅れて、追い越されようとしている者に示される。
①(静止) 後ろから追越車が近づいてくる場合、追い越されようとしているので現在の進行方向を保持せよ。現在の進行方向を維持し、後続車が近づいたら追抜させる。
②(振動) すぐ後方に追越車が来ている場合。追い越されようとしているのでその者に進路を譲れ。走行ラインを後続車に譲り、指で後続車の抜いていく進路を示す。



●黄旗——

- ①(静止) 前方に停止車等障害物がある。前方危険であり追越しを禁止する。
- ②(振動) 前方が非常に危険であり停止準備せよ。すぐ前方に停止車等障害物がある。または、前方で走行ラインが障害物によりふさがれている。手を上げてスピードダウンし停止準備のスピードで旗から障害物までは追越禁止。



●緑旗——

競技続行せよ。
障害は除去された。
①競技続行。
それまで出されていた旗の解除の意味。
②スタート。
タイムトライアルのスタートに使われる場合もある。
コース障害物なくなった。
リスタートの場合もある。



●オレンジボール

指示された番号のkartの、技術的トラブルに対するピットイン命令
①kartの部品、吸気消音器、マフラー等の脱落や故障などがある場合。
②ドライバーの装備品に不備等がある場合。
旗を出された周りにピットインし、修理しなければならない。修理後再びコースインできる。修復出来ない場合はリタイヤとなる。



●対角線で黒と白に分けた旗と白地の番号——

警告のフラッグ
非スポーツマン的の行為に対して、最後の警告である。
原則として2回出された場合は失格となる。
①ドライバーに軽度のルール違反行為があった場合。
=例=プッシング、幅寄せ、悪質なブロック等
再度ルール違反行為をくり返さぬよう心がけて競技を続行する。



●黒旗——

指示された番号のkartのピットイン命令。
かつ当該ドライバーは競技長まで出頭せよ。
①ドライバーにルール違反行為があった場合。
②失格となる場合。
その周りにピットインし競技長まで出頭。失格の宣告または注意をつける。



●黄黒と白のチェッカー旗

競技終了。
①レースが終了した場合。
コントロールライン通過後前方のkartを抜かず、徐々にスピードダウンして、規定コースをゆっくり走行し、ピットインする。
②フリー走行、終了やイベント走行終了の時も使う。
コース内に停止していたドライバーはkartを車庫検査場所に移す。残置など後置の必要のない場合はバックヤードに置く。